



緑の募金

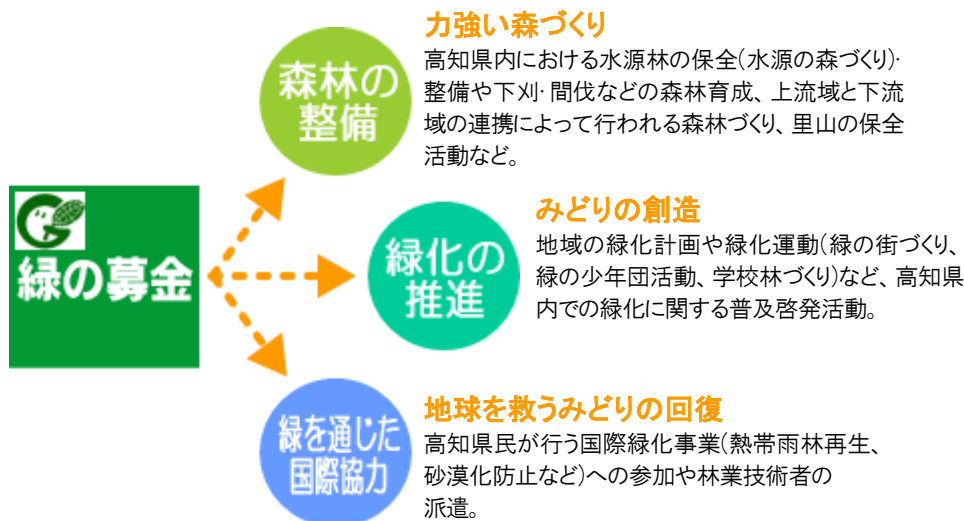
公募事業報告集

【令和6年度】

公益社団法人高知県森と緑の会

はじめに

緑の募金事業は、緑のボランティア活動を支援し、国民参加の森林づくり運動として展開することにより、国内はもとより地球規模で森林づくりを進めることを目的として、平成8年以降「緑の募金法」に基づき、全国で森林の整備、緑化の推進、緑の国際協力の3分野の事業を実施しています。



高知県では、公益社団法人高知県森と緑の会が緑の募金への寄付を募り、その管理運営を行っています。寄付いただいた緑の募金は、高知県内のさまざまな事業に活用されており、その主要事業としてボランティア団体等が行う地域に密着した森林の整備や緑化の推進に関する公募事業に助成しています。

令和6年度の公募事業には、5団体から5件の申請がありました。事業の原資となる緑の募金総額は平成30年に大幅に減少し、令和2年には新型コロナウイルス感染症の影響もあり過去最低額となりました。そのような厳しい状況ではありますが、ボランティア団体等の活動は緑の募金で支援すべき事業と考え、1,800千円の交付額を予定して運営協議会で審議し、その後の理事会で5団体5事業に対して総額1,704千円の交付が決定となりました。最終的な交付実績は4団体4事業で総額1,357千円となりました。

緑の募金にご協力いただいた方々や関係者の皆さまに事業について報告し、募金の意義や役割を認識していただくことは、今後の募金活動を維持・発展させていくうえで大変重要です。そこで、毎年報告集を作成して関係者に配布するとともに、当会ホームページに掲載し、各事業の概要についてご紹介しています。

県内の団体の皆さまにおかれましては、今後の活動の参考にしていただくとともに、県民の皆さまの緑の募金への理解の一助になれば幸いです。

今後とも、緑の募金へのご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年4月

公益社団法人高知県森と緑の会

[目 次]

令和 6 年度緑の募金公募事業一覧表	1
--------------------	---

【森林の整備】

令和 6 年度入野松原松苗植樹事業	2
-------------------	---

山林保全育成事業	3
----------	---

【緑化の推進】

三嶺の森再生事業	4
----------	---

大坂桜並木の整備事業	5
------------	---

令和6年度緑の募金公募事業一覧表

森林の整備

番号	事業名	実施団体名	事業概要	実施場所	団体の所在地	実施日	交付実績額 (事業総額)
1	令和6年度入野松原松苗植樹事業	入野松原保存会	名勝入野松原で森林病虫害による松枯れが広がっているため、地域住民等による松の植樹を行い、松林の再生を図る。松林を後世に引き継ぐために町内の小学生を対象とした林間学校と合わせて実施し、関係者や小学生等81名が松苗400本を植樹した。これにより自然を大切に育むことを普及啓発できた。	幡多郡黒潮町入野松原	黒潮町	令和7年 2月21日	400,000 (400,000)
2	山林保全育成事業	仁淀川流域山林保全育成の会	高知県を代表する「奇跡の清流」仁淀川の上流域の水源地涵養機能を高めるため、仁淀川上流域の山林に広葉樹800本を植樹した。仁淀川上流から下流の関係者や一般参加者等の計53名が参加し、森-川-海のつながりを意識した豊かな森づくり活動を展開した。これにより水源の森づくりの大切さを普及啓発することができた。	仁淀川上流域の山林 (民有林：いの町上八川分下若宮)	いの町	令和6年 11月17日	400,000 (618,625)
小計							800,000

緑化の推進

[illegible]

森林の整備 1

事業名	令和6年度入野松原松苗植樹事業	団体名	入野松原保存会
実施場所	黒潮町入野松原	実施日	令和7年2月21日(金)
団体の所在地	黒潮町		
事業の目的 黒潮町の国の名勝「入野松原」は黒潮町のシンボルであり、防潮・防風林の役割を果たしている。しかし、近年は深刻な松枯れが広がっており、平成30年度は2,000本以上、令和元年度は2,500本以上の枯れ松を伐倒するなど被害は大きくなっている。令和元年度から樹幹注入や薬剤の地上散布時期の変更等の対策を行っているが、今後も対策を継続し、松苗の植樹を行うことで松林の再生を図る。			
事業の概要 平成30年度から毎年松苗の植樹を行っている。令和6年度も枯れた後の空白地に松苗400本を植樹した。松林を後世に引き継ぐとともに自然を大切にする心を育む活動として、黒潮町立入野小学校5年生の児童21名を対象とした林間学校と合わせて実施し、関係者等81名が参加した。 参加した小学生らはスコップで穴を掘った穴に苗木と培養土を入れ、土を踏み固めて支柱で固定する作業を行った。終了後、関係者から「松林が潮風などから住民を守り、津波が到達するのを遅らせるくらい大きく育てほしい。」などの感想があった。			

事業の様子



森林の整備 2

事業名	山林保全育成事業	団体名	仁淀川流域山林保全育成の会
実施場所	仁淀川上流域の山林 (民有林:いの町上八川下分)	実施日	令和6年11月17日(日)
団体の所在地	いの町		
事業の目的			
高知県を代表する日本一の清流仁淀川上流域の水源涵養機能を高めるため、上流域の皆伐跡地に仁淀川上流から下流の関係者により広葉樹を植樹する。自然の再生力も生かして、伐採後の種子の芽生えや株からの萌芽を適当に残して、その樹種も育てながら植樹との調和を図り、森林の再生を図る			
事業の概要			
仁淀川上流から下流の関係者や一般参加者など計 53 名が参加し、森-川-海のつながりを意識した豊かな森づくり活動を協力して展開し、ケヤキ、イロハモミジ、ヤマザクラ、イヌシデ、クヌギの広葉樹を 800 本植樹した。天候の影響で 10 月 27 日に予定していた植樹が延期となったため、例年より少ない参加者数となったが、今回の活動により水源の森づくりの大切さを普及啓発することができた。			

事業の様子



緑化の推進 1

事業名	三嶺の森再生事業	団体名	三嶺の森をまもるみんなの会
実施場所	香美市物部町 三嶺山系の白髪分岐避難小屋付近	実施日	令和6年5月25日(土)
団体の所在地	香南市		
事業の目的			
三嶺系の白髪分岐避難小屋付近でこれまで設置してきた防鹿柵、樹木保護ネットの点検、補修を行う。防鹿柵、樹木保護ネットを補修することによって、その機能を良好な状態で維持し、シカの食害によって傷ついた三嶺の森の再生を促す。また、防鹿柵内外の植生が回復し、残置がなくなると判断された柵については、景観配慮の視点から撤去する。			
事業の概要			
団体関係者、高知中部森林管理署、高知大学や高知農業高等学校の学生、一般参加者等 68 名が参加し、白髪分岐避難小屋周辺の防鹿柵 5 区画の点検、補修を行った。防鹿柵2カ所のネットの張り替え約 100m、防鹿柵4区画のネットの補修、防鹿柵3区画の支柱の取替他を行い、その機能を良好な状態で維持することでシカの食害により傷ついた三嶺の森の再生を促した。また、植生が回復し、残置がなくなると判断された柵については、景観配慮の視点から撤去した。防鹿柵を維持補修したことでシカの食害を防止し、下層植生が回復することで森の再生が図られる。			

事業の様子



緑化の推進 2

事業名	大坂桜並木の整備事業	団体名	中土佐ライオンズクラブ
実施場所	中土佐町大坂地区公民館周辺の桜並木	実施日	令和 7 年 2 月 22 日(日)
団体の所在地	中土佐町		
事業の目的 大坂地区の大坂谷川沿いには約 200 本の桜が植樹され、春には見事な桜並木を楽しむために多くの人が訪れる。2009 年、2010 年に当事業に採択された高知県緑サポーター会が主体となり、樹木医の指導の下、地域住民とともに手入れを行い、その後も住民による定期的な手入れを行ってきたが、近年、テングス病に罹患した枝や枯れ枝などが多く見られるようになった。2023 年 1 月に(公社)高知県森と緑の会と中土佐ライオンズクラブの共催で桜並木の約半分の手入れを行った。今回の事業では残り半分の桜並木の手入れを行う。			
事業の概要 団体関係者、地域住民、中土佐町役場職員、緑サポーター等 51 名が参加し、樹木医の指導の下、テングス病に罹患した枝や枯れ枝の剪定等の手入れを行った。作業を通じて、中土佐町民を中心に県民への環境美化や樹木の保護・育成等の普及啓発を図った。			

事業の様子



1円からはじめる森づくり。緑の募金はあなたから森へのプレゼント。



緑の募金に関するお問い合わせ
緑の募金事業に関するお問い合わせ

公益社団法人 高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市棧橋通6丁目7番43号

総合保健協会合同庁舎5階

TEL : 088-855-3905 FAX : 088-855-3906

Email : info@moritomidori.com

URL : <http://www.moritomidori.com/>